

「コグニフォトベース」新サービス、 約 2,000 拠点の修理工場が申込

コグニビジョン株式会社

国土交通省の「透明性確保ガイドライン」に対応し、保険外修理案件の登録・工程別画像管理を強化

コグニビジョン株式会社（本社：新宿区西新宿 代表取締役社長：安藤 維康）は、自動車修理工場と損害保険会社・共済組合間で事故車の写真および見積りの送信が行えるプラットフォーム「コグニフォトベース」において、修理工場向けの有料新機能を 2025 年 11 月 17 日にリリースし、1 か月で早くも約 2,000 拠点の修理工場にお申込みいただきました。この度の新機能により、国土交通省が推進する「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」に準拠した修理情報の記録・保存が可能になり、修理工場の情報管理の強化と効率化をサポートいたします。

cogniPHOTOBASE

【新機能の主なポイント】

1. 保険外修理案件（自費修理案件）の登録が可能に

これまで対象外であった保険を使用しない保険外修理案件（自費修理案件）についても、コグニフォトベースへの登録が可能になりました。

2. 工程別画像管理の実現

修理前・修理中・修理後の工程別の画像管理が可能となり、より詳細で体系的な情報管理を実現します。

3. 専用ストレージ容量の拡大

コグニフォトベース内に用意された専用ストレージ容量を拡大し、多くの案件情報を長期的に保管できるようになりました。

【新機能リリースの背景と効果】

国土交通省による「車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン」は、車

報道関係各位

体整備における透明性の向上とお客様への適切な説明の実施を目指すものです。

今回の機能拡張により、コグニフォトベースは従来の損害保険会社への画像送付に加えて、保険外修理案件も含めたすべての案件情報を、ガイドラインに沿って一元的に管理することが可能となります。これにより、修理工場はお客様へ適切な説明をするための記録管理を効率的に行うことが可能です。

【サービス利用状況】

新サービスは 11 月 17 日の提供開始以降、1 か月で約 2,000 拠点の修理工場よりお申込みをいただいております。今後もお申込みの増加を見込んでいます。

コグニビジョンでは、引き続き自動車修理工場、損害保険会社・共済組合の生産性向上に少しでもお役に立てるよう今後も取り組み、ひいてはカーオーナーさまの快適なカーライフを微力ながら支援して参ります。

<参考>

車体整備の消費者に対する透明性確保に向けたガイドライン（国土交通省ウェブサイト）

<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001734259.pdf>

コグニビジョン株式会社について

設立：1974 年 10 月 1 日

所在地：

本店 〒163-6024 東京都新宿区西新宿六丁目 8 番 1 号 新宿オークタワー24 階

福島データ開発課 〒960-8041 福島県福島市大町 7 番 11 号 三共福島ビル 3 階

事業概要：自動車（含、部品）の価格や修理費見積り関連業務のデータベース・アプリケーションソフトの作成ならびに販売

URL: <https://www.cognivision.jp/>

お問い合わせ先

コグニビジョン株式会社

総務企画部

cgv_pr@cognivision.jp